

知って得する健康コラム～感染症の基本：溶連菌感染症～

溶連菌感染症とは？

溶連菌感染症とは、『溶血連鎖球菌』という細菌によっておこる感染症です。大人にも感染しますが、特に学童期の子どもに感染しやすい病気です。

感染すると、発熱や全身のだるさ、のどの痛み、吐き気などがみられます。

正しく治療を行わないと、急性腎炎、中耳炎、リウマチ熱などの合併症につながる怖い病気です。

溶連菌感染症かな？と思ったら…



この感染症は重い風邪やインフルエンザと似たような症状です。風邪だと自己判断せずに医療機関に受診しましょう。特に溶連菌感染症の流行期である春～初夏、冬は注意が必要です。

早めの治療（主に抗生物質の服薬）で症状はかなり良くなります。すぐに受診できるようかかりつけ医を持つと良いでしょう。

身近な人がかかったときの対処法

溶血連鎖球菌は感染力が強い菌の一つです。新型コロナウイルス感染症と同じ「飛沫感染」と「接触感染」で他の人へうつります。



[画像出典：大阪大学微生物病研究所]

まずは患者と濃厚接触を避けることが重要です。タオルや食器などは別々に使用しましょう。また、石けんでの手洗い、うがい、マスクの着用など、基本的な感染対策も忘れずに行いましょう。

【問】保健センター 83-2312